



過去の研究実績	現在、注力している研究	今後取り組んでいきたい研究
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ヒトが行う様々な視覚的なタスクに 関与する脳内色情 報処理メカニズム の解明</li> <li>2. 物体に感じられる 多様な質感の知 覚・認識に関わる 画像特徴の解明</li> <li>3. ヒトの視覚・脳の 様々な環境への適 応特性の解明</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ヒトの知覚・感覚特性の解明と、その特性を生かした画像上の質感操作技術の開発</li> <li>2. 色覚異常における未知の色知覚特性の発見と、その新原理に立脚した色情報呈示技術の開発</li> <li>3. 官能的製品評価への適応を目指した高効率心理物理実験法の開発</li> </ol> <div data-bbox="718 896 1829 1268" style="text-align: center;"> <p><b>代表的研究例</b></p> <p>光沢感に関連する<b>画像特徴の抽出</b>と画像処理技術</p> <p>提案心理物理法で<b>質感感性に重要な箇所を同定</b></p> <p><b>多くの人に見やすい</b>色条件の再評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ヒトの質感知覚特性に立脚した高付加価値製品の開発</li> <li>2. 教科書に載っていない新しい原理に基づく色評価・色再現技術の開発</li> </ol> <div data-bbox="1854 945 2374 1273" style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 10px;"> <p>製品を見てその価値を感じるのは、機械でもAIでもなくヒトそのものです。そのヒトの感覚・知覚特性を熟知することで初めて生まれる高付加価値製品や各種評価技術の開発を行います。</p> </div>